笑顔かがやく練三の子

みんなで育てる練三の子

練三だより



No. 497

練馬区立練馬第三小学校

平成29年1月10日発行 学校評価特別号 校長 渋井 和子 練馬区貫井 1-36-15

TEL: 3970-5641

教育目標 あたたかな心をもつ

すすんで学ぶ さいごまでやりぬく

つよいからだをつくる

学校評価

校長 渋井 和子

学校評価にご協力いただきましてありがとうございました。このたび、本校の教育活動及び学校運営に関する評価をまとめましたので、ご報告いたします。

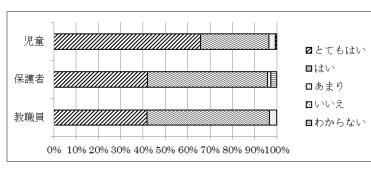
調査の概要

- 1 調査実施期間 平成28年11月4日~11月12日
- 2 対象・回収数 教職員31名 保護者330名 児童409名
- 3 回答方法 保護者: 【とてもあてはまる・だいたいあてはまる・あまりあてはまらない・あてはまらない・分からない】の5観点で評定した。

児童と教職員:【とてもあてはまる・だいたいあてはまる・あまりあてはまらない・あてはまらない】の4 観点で評定した。

I 評価の結果

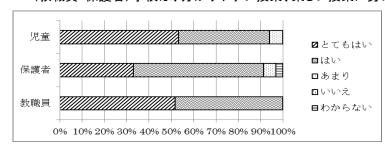
1 (児童) 楽しく生活している。 (保護者・教職員) 学校は、教職員が協力して教育活動にあたっている。



ご意見 ○よいところ(意見数20)

- ●改善を要するところ(意見数4)
- ○校長先生を中心に先生方が、熱心で子供たち のために一生懸命指導にあたっている。(11)
- ○子供たちのために新しい取組を毎年行う。(3)
- ○きめ細かな対応をしてくださっている。(2)
- ●子供たちへの関わり方や興味の引き方について 全教員が共有できるような体制があるとよい。
- 2 (児童) 学習内容が分かっている。 (教職員・保護者)学校は、公が見めまい授業 楽しい授

(教職員・保護者)学校は、分かりやすい授業、楽しい授業に努めている。

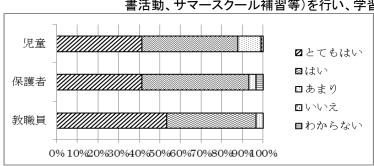


ご意見 ○よいところ(意見数7)

- ●改善を要するところ(意見数7)
- ○子供たちに分かりやすく説明している。(2)
- ○子供の得意なことを伸ばしてくれている。
- ●学びのステーションの導入がとてもよい。 積極的 に活用できるようにしてほしい。
- ●練三小スタンダードの持ってきてはいけない物の表記が曖昧だと思う。

3 (児童) 自分からすすんで学習することができる。

(教職員・保護者)学校は、学力の定着を図るための取組(モジュール学習、算数少人数指導、ノート指導、読書活動、サマースクール補習等)を行い、学習意欲や学力の向上に努めている。

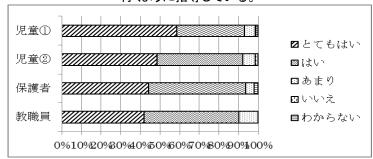


ご意見 ○よいところ(意見数17)

- ●改善を要するところ(意見数2)
- ○低学年からの算数少人数やモジュール学習を 行っていて学ぶ姿勢が身に付いてきた。(6)
- ○年に3回の家庭学習チャレンジ週間があり、 子供たちも積極的に学習している。(3)
- ○廊下や壁に漢字や数式などが貼られていることが子供たちや親にも刺激になってよい(2)
- ●宿題が少ない気がする。増やしてほしい。

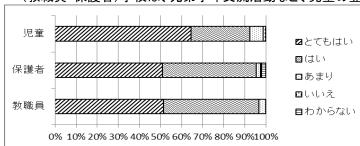
- 4 (児童①) 昨年度より、あいさつができるようになった。
 - (児童②) 昨年度より、学校のきまりを守ることができるようになった。

(教職員・保護者)学校は、あいさつや学校のきまりを守ること等、集団生活を送る上で基本的生活習慣が身に 付くように指導している。



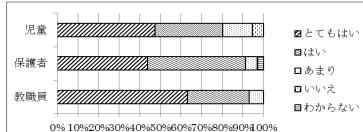
- ご意見 ○よいところ(意見数7)
 - ●改善を要するところ(意見数10)
- ○みんながあいさつをよくしてくれる。下級生 にもやさしく楽しく接してくれる。(2)
- ○先生の指導をきちんと聞く姿勢ができている 様子が見られるので安心しています。
- ●放課後の過ごし方の指導をしっかりしていた だきたいです。
- 5 (児童) 兄弟学年交流活動で、他の学年となかよくなれた。

(教職員・保護者)学校は、兄弟学年交流活動など、児童の豊かな関係作りに努めている。



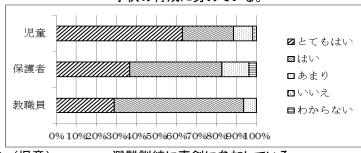
- ご意見 ○よいところ(意見数34)
 - ●改善を要するところ(意見数2)
- ○兄弟学年交流がよい。(24)
- ○かしわ学級との交流と連携を図っている。(5)
- ○兄弟学年交流やがんばるニャンひろばは子供 同士の交流にとても有意義だと思う。
- ●他学年の交流が決まった学年ばかりのようで 残念です。
- 6 (児童) 学校で困ったことがあるとき、先生や相談室の先生に相談することができる。

(教職員・保護者)学校は、子供についての連絡、相談に適切な対応している。



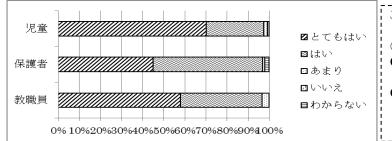
- ご意見 ○よいところ(意見数9)
 - ●改善を要するところ(意見数3)
- ○子供たちが安心して過ごすことがきる環境が 整っている。
- ○先生方がよく子供のことを気にかけてくれて 少しでもよくしようと協力してくださる。
- ●毎月1回のいじめチェックリストを低学年で も実施してもよいのではと思う。
- 7 (児童) 体育の時間や休み時間にすすんで体を動かしている。

(教職員・保護者)学校は、子供の体力向上のための取組をし、外で元気に遊んだり、すすんで運動したりする 子供の育成に努めている。



- ご意見 ○よいところ(意見数4)
 - ●改善を要するところ(意見数7)
- ○チャレンジ月間で体力向上を努めているところです。
- ○休み時間に外遊びをすすめ、先生方も一緒に 遊んでくださるところがよいと思う。
- ●登校前に校庭で走るなど体力向上企画をもっとやってもいいと思う。(4)
- 8 (児童) 避難訓練に真剣に参加している。

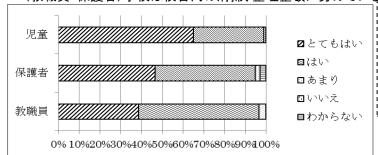
(教職員・保護者)学校は、緊急時に備えて、安全指導(避難訓練、毎月の安全指導等)、校舎内外の安全管理 に努めている。



- ご意見 ○よいところ(意見数1)
 - ●改善を要するところ(意見数4)
- ○防災教育により、防災の意識が向上している。
- ●正門脇の入り口が施錠していないため、不審 者が自由に出入りできてしまう。
- ●通学班を作ってほしい。子供の安全面を考えて高学年が低学年を守り、関係作りを図ってほしい。

9 (児童) 掃除の時間は、掃除をしっかりしている。

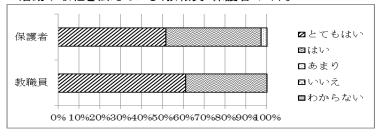
(教職員・保護者)学校は校舎内の清掃、整理整頓に努めている。



ご意見 ○よいところ(意見数2)

- ●改善を要するところ(意見数1)
- ○校舎内がとてもきれいで学校全体で気を付けて いることが分かる。
- ●トイレ清掃は高学年には自分たちでやらせた 方がよいと思います。

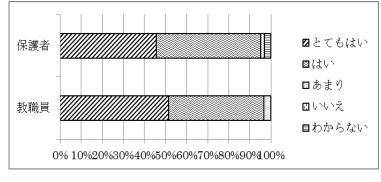
10 学校は、学校だより、学年だより、学級だより、ホームページ、保健だより、給食だより、保護者会等で学校の活動や取組を伝えている(教職員・保護者のみ)。



ご意見 ○よいところ(意見数1)

- ●改善を要するところ(意見数9)
- ○様々な便りで学校の活動が知らされるので安心 しています。
- ●学校での出来事の発信にホームページをもっと 利用してほしい。(2)
- ●学校側が意欲的に取り組んでいることが保護者 側に伝わってこないことに残念感がある。

11 学校は、学校公開、サマースクール、講演会(セーフティー教室、食育講座、道徳授業地区公開講座)等を通し、育てたい子供の姿を保護者や地域と共有し、連携して子供の教育にあたっている(教職員・保護者のみ)。



ご意見 ○よいところ(意見数9)

- ●改善を要するところ(意見数11)
- ○学校の雰囲気がとてもおおらかなところがよ い。
- ○保護者のボランティア活動や練三お父さんの 会の活動がすばらしい。
- ○このような学校アンケートをとり、様々な意 見を聞いてくれるところがよい。
- ●学校公開では普通の授業を見たい。(2)
- ●平日の学校公開が増えるとありがたい。(2)

【かしわ学級】かしわ学級についてのご意見のみを載せました。学校全体のご意見は各項目に反映しています。

○よいところ(5) ●改善を要するところ(12) ○先生方が熱心でよく見てもらっていると思う。 ●通常級との交流がもう少しあるとよい。 ○学校が保護者や地域に開かれていて、かかわりやすいと思う。 ●かしわ学級のお子さんと休み時間一緒に遊んでほしい。仲間意識を高めてほしい。 ○子供も一人ではできないけれど先生と一緒にやることで少し自信がついたようです。 ●欠員があった時には、できる限り早く補充してほしい。

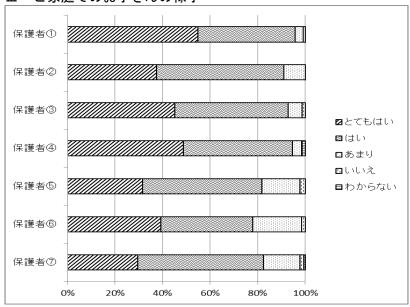
Ⅱ 結果の検討

- 1 児童の結果から
- ○9項目中6項目において、【とてもあてはまる・だいたいあてはまる】という回答の値が90%を超える結果となりました。また、9項目中6項目において今年度の学校評価の【とてもあてはまる・だいたいあてはまる】の値が昨年度より上回りました。下回った3項目は、0.2%~1.4%の微減となりました。
- ○【とてもあてはまる・だいたいあてはまる】の値が一番増加したのは、設問6(学校で困ったとき、先生や相談室の 先生に相談することができる)です。昨年度よりも5.6%増加しました。次いで、設問4の「昨年度より、学校のき まりを守ることができるようになった」が92.4%となり、昨年度よりも、2.6%増加、同じく設問4の「昨年度よりあ いさつができるようになった」が94.1%となり、昨年度よりも、2.4%増加しました。
- ○今年度、重点目標として取り組みました学力向上については項目2「学習内容が分かっている」は、94.1%となり、昨年度よりも、1.9%増加しました。しかしながら、項目3「自分からすすんで学習することができる」は、88.0%となり、昨年度よりも、0.9%下回る結果となりました。学習方法を検討したり個に応じた指導を繰り返したりすることで主体的な学習ができるようにしていきます。

2 保護者の結果から

- ○回答数が昨年度の321人から330名に増え、より多くの方に回答をいただきました。
- ○11項目中10項目において、【とてもあてはまる・だいたいあてはまる】という回答の値が90%を超える結果となりました。また、11項目中8項目において、今年度の学校評価の【とてもあてはまる・だいたいあてはまる】の値が昨年度より上回りました。3項目は、昨年度より微減(0.1%~0.6%)となりました。。
- ○【とてもあてはまる・だいたいあてはまる】の値が一番増加したのは、設問3(学校は分かりやすい授業、楽しい授業に努めている)です。昨年度よりも3%増加しました。次いで、設問1(学校は、教職員が協力して教育活動にあたっている)です。昨年度よりも、2.2%増加しました。他にも、設問5(児童の豊かな関係づくり)や設問8(安全指導、安全管理)、設問10(情報の伝達)、設問11(保護者、地域との連携)の【とてもあてはまる・だいたいあてはまる】値が95%以上となりました。設問7(体力向上)については昨年度より高い評価を得ましたが、さらに学校と家庭との連携の下、具体的な取組を行っていくことが必要であると考えています。

Ⅲ ご家庭でのお子さんの様子



設問① お子さんは楽しく学校に通っていますか。 お子さんは十分な睡眠がとれていますか。 設問③ お子さんは家庭であいさつをしていますか。 設問④ お子さんは、友達となかよく過ごしています 設問⑤ お子さんは家庭で学習する習慣がついてい ますか。 設問⑥ お子さんは、運動したり体を動かしたりしてい ますか。 設問(7) お子さんは、家庭で学校のできごとについて 話しますか。

Ⅳ 学校評価の質問以外に関するご意見

【教職員の態度】

- ○友達とトラブルがあったときに、早急に対処してくださった。
- ○先生、保護者、子供たちが密に接することができてよい。
- ○ザリガニや金魚の飼育を担任の先生が率先して行ってくださっている。
- ●多くのことを先生に望むことが難しい状況なのかなと思う。
- ●言葉遣いの悪い先生がいるのが残念です。

【担任の交代】(7)

- ●今年度は年度途中の先生方の入れ代わりが多く残念に思った。
- ●休職する教員の数が多いことが気になる。

【がんばるニャンひろば・校庭開放】

- ●夏休みなどがんばるニャン広場を設けてほしい。
- ●長期の休みのときの居場所を設けてほしいと思う。 がんばるニャン広場のような宿題もできて、外や体育館などで遊べるように長期の休みもときも学校でそのような場所があると助かる。

V ご意見·ご要望に対する回答

◎練三小スタンダードの持ってきてはいけない物の表記が曖昧だと思う。

→練三小スタンダードは学校全体で学習規律や生活指導を行う際の基本方針で、各教室に掲示をしています。各 学級が練三小スタンダードの内容を指導することで、一貫性を図ることができます。また、毎月、練三小スタンダー ドの内容の定着状況を各学級で把握し、学校全体の状況をつかみ、学習規律や生活指導に生かすようにしてい ます。保護者の皆様や学校評議員の皆様などにお示しすることで学校・保護者・地域が協働して子供たちの育成 に努めることができると考えています。

◎学びのステーションの導入がとてもよい。積極的に活用できるようにしてほしい。

- →「学びのステーション」は、今年度より2階昇降口前の棚に開設しました。学年ごとに、国語(読み取り・漢字・作文)と算数の復習ができるプリントを置き、子供たちが自由に持ち帰って行えるようになっています。
 - 今回の学校評価のご意見を受けて、早速、学力向上部が以下の点について改善いたしました。
 - ①1・2学期は、プリントを持ち帰っているのは低学年で、中・高学年の利用はあまりありませんでしたので、今までのような学習プリントの他に、クイズや迷路をしながら問題を解くような、楽しみながら学習できるプリントも置くことにしました。
 - ②学びのステーションの場所を知らない児童がまだいるため、校内に学びのステーションの場所を記した掲示をしました。 さらに、棚の中のプリントの一覧表を貼ることで、どの棚から取ればよいのかを分かりやすくしました。

◎通学班を作ってほしい。子供の安全面を考えて高学年が低学年を守り、関係づくりを図ってほしい。

- →集団登下校実施の場合は以下のことが必要となります。
 - ①地区班編成 ②集合場所の確保 ③登校時及び集合場所での保護者の児童の見守り などの整備を保護者の皆様にしていただく必要があります。保護者の皆様のご理解とご協力をいただく必要があります。要望が多数ございましたら検討の方向で考えていきます。

◎正門脇の入口が施錠していないため、不審者が自由に出入りできてしまう。

→正門脇の入口は通用門のことだと思います。この門については、現在マジックキャッチという鍵をかけて不審者の 侵入を防いでいます。2学期から1、2階昇降口は常に扉を閉じることにしています。また、保護者の皆様のご協 力によって、安全安心ボランティア活動を実施しています。登録してくださっている方は57人です。このボランティアの方々は、休み時間に校内のパトロールをしてくださり、子供たちが安全安心に過ごせるようにご尽力いただ いています。今後も安全安心ボランティアへの登録、休み時間の校内パトロールに関してご協力いただける方は、 学校までご連絡をお願いいたします。

<u>◎学校での出来事の発信にホームページをもっと利用してほしい。また、学校側が意欲的に取り組んでいることが保護者側に伝わってこない残念感がある。</u>

→学校や地域で起きたことについては、素早く保護者の皆様にお伝えするために、不審者情報の報告を受けたときは「安全安心通信」の発行、欠席状況が増加傾向時には注意喚起のお知らせを発行しています。行事での様子や学年の様子の発信を充実させるために、ホームページで学年ページの更新を月ごとに行っていきます。また、今後さらに本校の特色ある教育活動の様子を発信してまいります。

◎季節によって、感染症などの情報が欲しいです。日付・件数・詳細が分かるといいなと思う。

→現在も欠席数の増加がみられた時は、その日に便りを出して、保護者の皆様に情報を提供し、注意喚起をしています。今後も、感染症やその他保護者の皆様に周知すべきことが発生した場合は、養護教諭と連携してできる限り最新の情報を発信できるようにします。

◎今年度から給食がおいしくないと言うようになり、よく減らしていると聞く。

→民間委託給食になり2年目ですが、今年度栄養士が変わり少しメニューや味付けが変わったところがあります。 現在、民間委託業者と月1回、献立会議を行い、給食の献立や栄養の摂取等について話し合っています。また、 給食試食会や校内の食育推進部、学校給食運営協議会などから意見を集約し、子供たちの声も聞きながら、委 託業者とも連携して美味しい給食を心がけていきます。

◎2年連続で同じ学年との兄弟学級はやめてほしい。他学年の交流が決まった学年ばかりのようで残念です。

→兄弟学年交流は4~6年生はリーダーシップや下級生に対する思いやりの心を育てること、1~3年生はフォロアーシップ学び上級生へのあこがれの気持ちをもたせることをねらいとしています。いろいろな組み合わせを検討しましたが、これらのねらいの達成には現行の1−6年、2−4年、3−5年が最も適していると考えられますので、来年度も同じ体制をとる予定です。ただし、2年連続で班のメンバーが同じにならないよう、年度当初の組織作りの際、配慮いたします。

◎長期の休みのときの居場所を設けてほしいと思う。がんばるニャン広場のような宿題もできて、外や体育館などで 遊べるように長期の休みもときも学校でそのような場所があると助かる。

→練馬区では「練馬型放課後児童対策事業」として、ねりっこクラブ事業が平成28年度から3校(豊玉小、田柄第二小、向山小)実施され、平成29年度から5校(北町西小、中村西小、高松小、関町小、大泉学園小)実施される予定です。この事業については、今後も練馬区と学校とで打ち合わせを重ねて順次開設されることになっています。本校の予定は、平成29年1月現在まだ決まっていません。

◎毎月1回のいじめチェックリストを低学年でも実施してもよいのではと思う。

→本校では、「練三小いじめ基本方針」に則って意図的・計画的・組織的にいじめの未然防止・早期発見に努めています。具体的な内容として毎月、「みんななかよし」(いじめチェックリストを全学年で実施)、いじめ防止標語などの取組を行っています。「みんななかよし」には、いろいろな子供たちの声が届きます。だからと言っていじめが増えているとは考えていません。子供たちの意識が高まり、「いじめの芽」の段階で気付いたことを発信してくれていると考え、学校では、迅速に対応するようにしています。

◎登校前に校庭で走るなど体力向上企画をもっとやってもいいと思う。

→平成28年度より実施している体力向上を図る手だての1つは、昼休みの時間を5分間伸ばしたことがあげられます。その結果、多くの児童が外で元気よく遊ぶようになりました。児童のアンケートの結果からも昨年度と比べて 0.6%上回りました。今年度は、「短縄」「持久走」「長縄」についてチャレンジ月間を設定し、運動の日常化を図り体力向上に努めています。また、毎月の学校便りに家庭でも取り組める運動や遊びを紹介し、学校と家庭が連携して子供たちの体力向上を目指しているところです。今後もさらに、新たなチャレンジ月間を設定し運動量を 確保したり、放課後の校庭開放の利用を推奨したりすることで体力の向上を目指します。

VI 来年度に向けての検討事項

本校の教育活動については、今年度実施した内容の継続実施をしていきます。また、重点的に取り組むこととして 次の3点を挙げます。

- ○学力向上(継続)…学習規律の定着 国語科における表現力の育成
- ○体力向上(継続)…運動習慣の定着 学校と家庭が連携した体力向上の取組の実施
- ○豊かな人間関係の構築(継続)…より主体的な子供たちの活動の支援

活動を推進していきます。

また、「V 来年度に向けての検討事項」として挙げた項目については、校内で検討し、教育課程編成に生かしていきます。平成29年度の教育活動の詳細につきましては、3月にお知らせします。